

設備管理が未来の競争力を拓く

第65回

設備管理全国大会

発表事例募集のご案内

予知保全、AIの活用、技能伝承など
設備管理・技術のカンファレンス

開催日 2027年
3/4^木 - 5^金

浅草橋ヒューリックホール & カンファレンス
2階 HULLIC HALL
3階 カンファレンスルーム0
(浅草橋駅より徒歩2分)

発表事例募集期間

7/21^火
- 10/23^金

お申し込み・大会の詳細はこちら

<https://info-jipm.jp/event/management/>

※ 発表方法や大会開催の詳細は、専用サイトにて順次公開します

※ 応募多数の場合や大会趣旨と大きく異なるご発表の場合は、ご発表をご遠慮させていただく場合がございます

設備管理全国大会は、設備管理における本格的な技術発表会として、開催回数60回を超える大会です。保全・工務・設計・生産技術・製造など、設備管理に関わる幅広い部門の管理者・スタッフ、ならびに経営幹部の皆様の設備管理に関わる意識向上と進化に寄与することを目的としています。

大会テーマ

1. AI × 現場力が創る設備管理革新
2. サステナブルな設備管理
(人づくり、体制づくり、保全技術)
3. 次の世代に選ばれる設備管理エンジニアとは

参加者の声

- ・ 現場での実践が印象的で、自社でも取り入れたい
- ・ 課題を分析と技術活用で解決していて、参考になった
- ・ 設備管理エンジニアの目指す姿を知ることができた
- ・ 各発表者と細かい技術的な話ができた

QRコードからもご確認いただけます▼



発表募集テーマ（複数のテーマを融合させた応募歓迎）

詳しい募集要項はQRコードから▼



- 設備管理に使われる DX・AI（デジタル活用の基盤）
- 進化する設備管理・保全技術（現場技術の深化）
- 設備管理におけるマネジメント（体制・仕組み・経営）
- 人財育成・技能伝承（エンジニア価値向上）
- カーボンニュートラルと設備管理（環境・効率・延命）
- モノづくり環境変化に対応する TPM 活動（全員参加の改善）
- その他（設備管理と隣接する領域）

第64回大会（昨年度）のご紹介

◆発表タイトル（プログラム順に記載）

【1日目（2026年3月5日）】

- ・ 人づくりを原動力に、現有資産を最大限に活かすDX保全への挑戦（マツダ株式会社）
- ・ エネルギー設備管理におけるDX推進（JFEスチール株式会社）
- ・ コンピテンシーの測定と活用による保全人材育成の成果向上（九州工業大学）
- ・ 予兆保全に向けた取り組み（株式会社カネカ）
- ・ 設備保全DX！～トラブルが止まない現場を変えるAI時代の実践ロードマップ～（株式会社M2X）
- ・ 世界共通のIoTソリューションと日本の現場主義との融合（ボッシュ株式会社）
- ・ 振動診断技術とDXで進化する予知保全（旭化成エンジニアリング株式会社）
- ・ 新工法設備新規導入時の早期安定稼働の取り組み～コールドスプレーの事例～（日産自動車株式会社）
- ・ 設備管理のポイントと人材育成（Blue Impact株式会社）

活発な意見交換のある交流会



【2日目（2026年3月6日）】

- ・ アナログ時代に蓄積した技術とデータを活用した設備保全DX（富士フイルムエンジニアリング株式会社）
- ・ SaaSを活用した定期修繕現場の効率的な運用（株式会社東京ファクトリー）
- ・ サステナブルな保全体制とスマート保全（住友化学株式会社）
- ・ DX時代のTPM～指標と事例でみるTPMの有効性～（公益社団法人日本プラントメンテナンス協会）
- ・ 省エネ診断は設備の健康診断～『もったいない』の見える化で設備のご機嫌伺い～（日産自動車株式会社）
- ・ 経営課題に挑む設備保全～データ活用とアセットマネジメントによる資産価値の最大化～（八千代ソリューションズ株式会社）
- ・ デジタル(XR)を活用した『技能の暗黙知の見える化』と『業務効率化』の取り組み（トヨタ自動車株式会社）
- ・ 具現化される設備管理DX、サステナブルな設備管理、設備管理エンジニアの将来像とは（パネルディスカッション）

大会企画委員 ※敬称略、法人名五十音順

委員長	： 羽田 優	（富士フイルムエンジニアリング）	委員	： 川瀬 直広	（デンソー）
副委員長	： 杉田 達信	（富士フイルムエンジニアリング）	委員	： 吉田 誠	（日産自動車）
副委員長	： 今井 寛之	（ボッシュ）	委員	： 松田 善介	（JIPM）
委員	： 大金 直行	（出光興産）			